

第456回触媒科学研究所コロキウム

ヘテロ原子含有 π 共役化合物の合成と機能

～ベンゼン環(正六角形)をヘテロ環や正多角形に置き換える～

Chemistry of Heteroaromatic-annulated π -conjugated compounds

三宅 由寛 教授

(兵庫県立大学大学院理学研究科)

2023年8月28日(月) 16:30-18:00

創成科学研究棟 セミナー室BC

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>



多環芳香族炭化水素(PAH)は縮環したベンゼン数および縮環形式に応じて電子的・光学的性質だけでなく、固体での凝集状態も変化する。PAHの一部のベンゼン環をヘテロ芳香環や正多角形に置き換えた PAH は導入したヘテロ原子による電子的影響や正多角形を置き換えたことによる構造変化が期待でき、ベンゼンのみからなる PAH とは異なる性質を示す。最近では八員環を含む分子ヘテロ[8]サーキュレンの化学、ピリジン縮環 PAH の機能開拓:イミン型窒素導入の効果という二つの課題に取り組んできた。講演では最近の研究を中心に紹介する。

学歴:

平成5年4月 京都大学工学部工業化学科入学

平成9年3月 同上卒業

平成9年4月 京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻修士課程入学

平成11年3月 同上修了(指導教官:植村 榮教授)

平成11年4月 京都大学大学院工学研究科物質エネルギー化学専攻博士後期課程進学

平成14年3月 同上修了(指導教官:植村 榮教授)、京都大学博士(工学)取得

職歴:

平成14年4月 科学技術振興事業団博士特別研究員(京都大学・杉野目道紀助教授(当時)の元で研究を行う)

平成14年7月 東京都立大学(現首都大学東京)大学院理学研究科化学専攻・助手(伊与田正彦教授の研究室で研究を行う)

平成17年7月 東京大学大学院工学系研究科総合研究機構・助手(西林仁昭准教授の研究室で研究を行う)

平成19年4月 同助教

平成25年4月 名古屋大学大学院工学研究科化学・生物工学専攻・准教授(忍久保洋教授の研究室で研究を行う)

平成29年4月 名古屋大学大学院工学研究科有機・高分子化学専攻・准教授(改組)

令和4年4月 兵庫県立大学大学院理学研究科物質科学専攻 教授

現在に至る

受賞:

(1) 日本化学会 第28回「若い世代の特別講演証」(2014年)

(2) 平成26年度 有機合成化学奨励賞(2014年)

問合せ先: 浦口 大輔 教授 (uraguchi@cat.hokudai.ac.jp・011-706-9149)

共催: 触媒科学計測共同研究拠点, 学際統合物質科学研究機構